

社会から愛され、存続を望まれる企業を目指し、 その活動を「環境」「社会」「経済」の3つの報告書で開示します。

企業は、社会の一員です。企業が社会から愛され、存続を望むためには、社会の持続的な発展に貢献することが前提条件になります。リコーグループは、「環境」「社会」「経済」の全ての視点から見て、優れた活動を行うとともに、活動に関する情報を適切に開示することが重要であると認識しています。

リコーグループは、「環境」「社会」「経済」の3つの報告書で、情報を開示しています。当報告書は、リコーグループの「環境経営」に関する情報を開示し、関係者（ステークホルダー）の皆様とコミュニケーションを図り、環境経営の改善に役立てるこにより、持続可能な社会づくりに貢献することを目的に発行しています。

●企業情報の入手方法

- ・環境経営情報
<http://www.ricoh.co.jp/ecology/>
- ・社会的責任経営情報
<http://www.ricoh.co.jp/csr/>
- ・IR(株主・投資家向け)情報
<http://www.ricoh.co.jp/IR/>
- ・社会貢献情報
<http://www.ricoh.co.jp/kouken/> (日本語のみ)

環境経営報告書の位置付け



SUSTAINABILITY REPORT (ENVIRONMENT)



SUSTAINABILITY REPORT (CORPORATE SOCIAL RESPONSIBILITY)



SUSTAINABILITY REPORT (ECONOMY)



◎環境経営報告書2005の編集方針

リコーグループは、環境保全と利益創出を同時に実現する「環境経営」を目指しています。当報告書は、環境経営の考え方や推進方法、活動事例、環境会計などをわかりやすく情報開示し、社会とのコミュニケーションを図るとともに、社会からの信頼を得るために発行しています。

表紙の写真・オーストラリアアシカ

オーストラリア南部や南西部の島々に分布し、砂浜の海岸に生息しています。南オーストラリア州政府がその数の減少により保護動物として指定しています。